

# 1 人口と世帯

## (1) 総人口(推計値)の推移 —総人口(推計値)は1,055,893人—

平成29年10月1日現在の本県の総人口は前年比5,500人(0.52%)減の1,055,893人となった。

総人口の推移をみると、大正9年から昭和25年までは比較的順調な伸びで増加し、昭和25年の国勢調査で初めて100万人台に達した。その後、全国的な大都市圏への社会移動(転出超過)が続き増加率は低下したが、昭和40年代後半からこの社会移動が減少傾向となったこと及び昭和46年から49年にかけて第2次ベビーブームを迎えたことにより、増加率は上昇に転じた。しかし、昭和50年代後半以降、出生者数の減少から増加率は再び低下し、平成初期には減少に転じた。その後、平成5～9年にかけて転入超過が続き、増加率は横ばいで推移したが、平成11年には出生者数が死亡者数を初めて下回り総人口は減少に転じた。

平成29年は、社会動態では358人の転入超過(2年連続)となったが、自然動態では5,858人の減少(15年連続)となったため、総人口は19年連続して減少した。

全国総人口に占める本県の割合は、昭和22年以降年々低下し、昭和45年には1%を割り、平成29年では、0.83%となっている。

人口密度(1km<sup>2</sup>当たり)は県全体で248.6人となっている。(図1・2、表1)

図1 総人口の推移

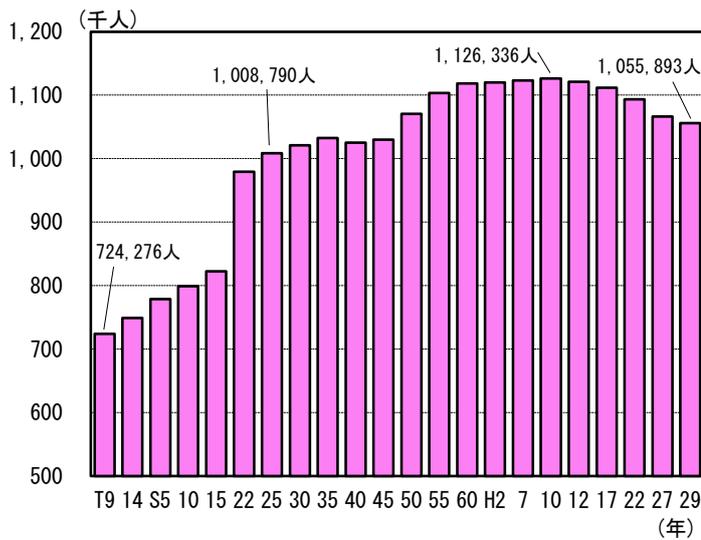


図2 総人口及び増減率(対前年)の推移 (平成19～29年)

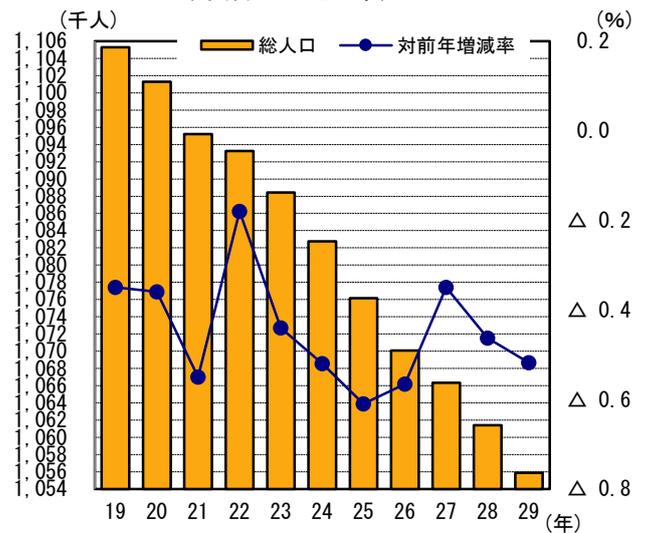


表 1 総人口の推移

年次	総人口	対前回(年) 増減数	増減率		人口密度 1km <sup>2</sup> 当たり	全国人口に 占める割合	指数 大正9年=100
			対前回 *1	年平均 *2			
	人	人	%	%	人	%	
大正9年※	724,276	-	-	-	170.1	1.29	100.0
14※	749,243	24,967	3.45	0.68	176.0	1.25	103.4
昭和5年※	778,953	29,710	3.97	0.78	183.0	1.21	107.5
10※	798,890	19,937	2.56	0.51	187.6	1.15	110.3
15※	822,569	23,679	2.96	0.58	193.2	1.13	113.6
22※	979,229	156,660	19.05	2.48	230.0	1.25	135.2
25※	1,008,790	29,561	3.02	0.99	237.0	1.20	139.3
30※	1,021,121	12,331	1.22	0.24	240.1	1.13	141.0
35※	1,032,614	11,493	1.13	0.22	242.9	1.10	142.6
40※	1,025,465	△7,149	△0.69	△0.14	241.2	1.03	141.6
45※	1,029,695	4,230	0.41	0.08	242.2	0.98	142.2
50※	1,070,791	41,096	3.99	0.78	251.8	0.96	147.8
55※	1,103,459	32,668	3.05	0.60	259.5	0.94	152.4
60※	1,118,369	14,910	1.35	0.27	263.0	0.92	154.4
平成2年※	1,120,161	1,792	0.16	0.03	263.8	0.91	154.7
7※	1,123,125	2,964	0.26	0.05	264.5	0.89	155.1
8	1,125,130	2,005	0.18	-	265.0	0.89	155.3
9	1,126,192	1,062	0.09	-	265.2	0.89	155.5
10	<b>1,126,336</b>	144	0.01	-	265.2	0.89	155.5
11	1,125,177	△1,159	△0.10	-	265.0	0.89	155.4
12※	1,120,851	△4,326	△0.38	-	263.9	0.88	154.8
13	1,120,320	△531	△0.05	-	263.8	0.88	154.7
14	1,118,518	△1,802	△0.16	-	263.4	0.88	154.4
15	1,116,926	△1,592	△0.14	-	263.0	0.88	154.2
16	1,116,306	△620	△0.06	-	262.8	0.87	154.1
17※	1,111,729	△4,577	△0.41	-	261.7	0.87	153.5
18	1,109,205	△2,524	△0.23	-	261.1	0.87	153.1
19	1,105,312	△3,893	△0.35	-	260.2	0.87	152.6
20	1,101,292	△4,020	△0.36	-	259.3	0.86	152.1
21	1,095,217	△6,075	△0.55	-	257.8	0.86	151.2
22※	1,093,247	△1,970	△0.18	-	257.4	0.85	150.9
23	1,088,409	△4,838	△0.44	-	256.2	0.85	150.3
24	1,082,763	△5,646	△0.52	-	254.9	0.85	149.5
25	1,076,158	△6,605	△0.61	-	253.4	0.85	148.6
26	1,070,070	△6,088	△0.57	-	251.9	0.84	147.7
27※	1,066,328	△3,742	△0.35	-	251.0	0.84	147.2
28	1,061,393	△4,935	△0.46	-	249.9	0.84	146.5
29	1,055,893	△5,500	△0.52	-	248.6	0.83	145.8

(注) 各年10月1日現在。※は「国勢調査」、その他は「富山県人口移動調査」による。

\*1 対前回増減率=(Pt-Po)/Po×100

\*2 年平均増減率={(Pt-Po)/t}/{(Pt+Po)/2}×100

Pt:時点tの人口 Po:時点oの人口 t:期間の長さ(年) t>o

## (2) 総世帯数(推計値)の推移 一世帯数(推計値)は400,065世帯で1.13%増加一

総世帯数は終戦直後の昭和22年に大幅に増加した(2.66%/年平均)。その後、伸び率が一旦低下したが再び上昇し、昭和35～55年は年平均1.4～1.6%台の伸び率で増加した。平成に入ってから、平成22年と平成27年を除き1.0%前後の伸び率で増加傾向が続いている。平成29年10月1日現在の総世帯数は400,065世帯で、前年に比べて4,453世帯(1.13%)増加した。

世帯規模を示す一世帯当たりの人員は、昭和25年の5.23人をピークに減少し続けており、平成29年は2.64人で、前年に比べて0.04人の減少となった。(表2、図3)

表2 総世帯数の推移

年次	総世帯数	対前回(年) 増加数	増加率		一世帯当 り人員 *3	指 数 大正9年=100
			対前回 *1	年平均 *2		
	世帯	世帯	%	%	人	
大正9年※	141,255	-	-	-	5.13	100.0
14※	145,784	4,529	3.21	0.63	5.14	103.2
昭和5年※	150,662	4,878	3.35	0.66	5.17	106.7
10※	154,917	4,255	2.82	0.56	5.16	109.7
15※	159,243	4,326	2.79	0.55	5.17	112.7
22※	191,920	32,677	20.52	2.66	5.10	135.9
25※	192,815	895	0.47	0.16	5.23	136.5
30※	199,332	6,517	3.38	0.66	5.12	141.1
35※	214,099	14,767	7.41	1.43	4.82	151.6
40※	230,297	16,198	7.57	1.46	4.45	163.0
45※	248,345	18,048	7.84	1.51	4.15	175.8
50※	269,323	20,978	8.45	1.62	3.98	190.7
55※	291,388	22,065	8.19	1.57	3.79	206.3
60※	300,526	9,138	3.14	0.62	3.72	212.8
平成2年※	314,602	14,076	4.68	0.92	3.56	222.7
7※	337,290	22,688	7.21	1.39	3.33	238.8
12※	357,574	20,284	6.01	1.17	3.13	253.1
17※	371,815	14,241	3.98	0.78	2.99	263.2
18	376,461	4,646	1.25	-	2.95	266.5
19	379,528	3,067	0.81	-	2.91	268.7
20	382,994	3,466	0.91	-	2.88	271.1
21	384,274	1,280	0.33	-	2.85	272.0
22※	383,439	△ 835	△ 0.22	-	2.85	271.5
23	386,023	2,584	0.67	-	2.82	273.3
24	389,103	3,080	0.80	-	2.78	275.5
25	391,799	2,696	0.69	-	2.75	277.4
26	394,666	2,867	0.73	-	2.71	279.4
27※	391,171	△ 3,495	△ 0.89	-	2.73	276.9
28	395,612	4,441	1.14	-	2.68	280.1
29	400,065	4,453	1.13	-	2.64	283.2

(注) 各年10月1日現在。※は「国勢調査」、その他は「富山県人口移動調査」による。

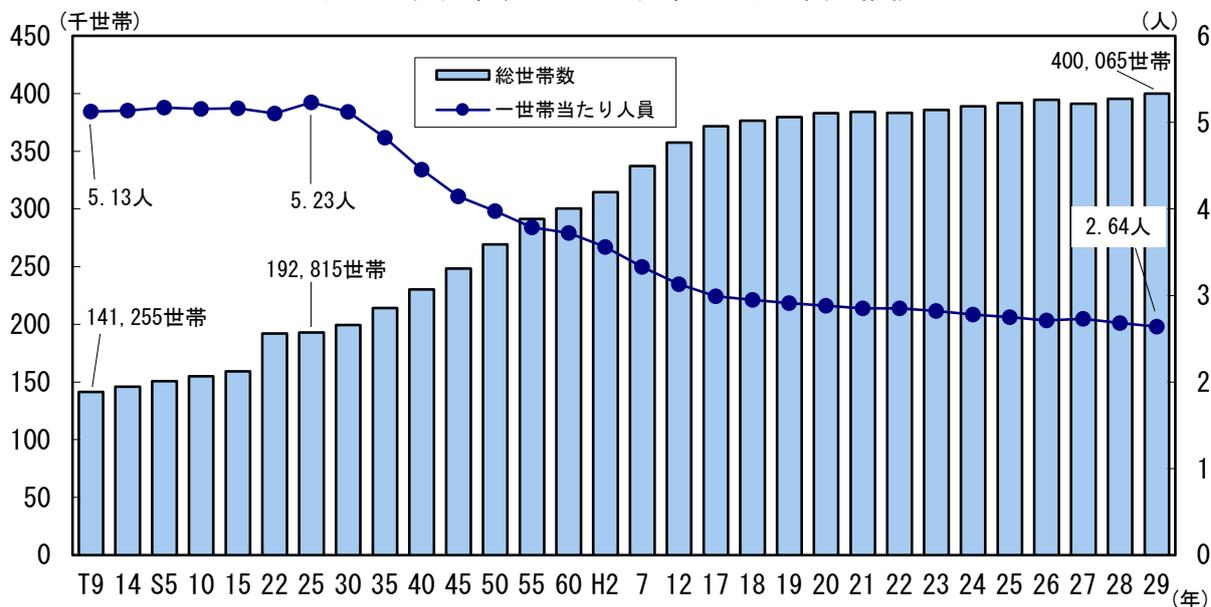
\*1 対前回増加率=(Ht-Ho)/Ho×100

\*2 年平均増加率={ (Ht-Ho)/t } / { (Ht+Ho)/2 } × 100

Ht:時点tの世帯数 Ho:時点oの世帯数 t:期間の長さ(年) t>o

\*3 一世帯当たり人員=総人口/総世帯数

図3 総世帯数および一世帯当たり人員の推移



(3) 市町村別人口 —人口増加は舟橋村の28人のみ、人口減少は高岡市の△1,065人が最大—

平成29年の市町村別人口は、富山市の417,575人が最高で、高岡市の170,523人、射水市の91,528人と続いている。富山市と高岡市を合わせると588,098人で県人口の過半数を占めている。

市町村別の人口増減をみると、前年に比べて総人口が増加した市町村は舟橋村のみで、人口増加数は28人、増加率は0.94%であった。

一方、総人口が減少したのは14市町(10市4町)で、人口減少数が最も多いのは高岡市の△1,065人、減少率が最も高いのは朝日町の△2.11%であった。(表3・4・5、図4)

表3 市町村別人口増減数・増減率

市町村名	H28年10月1日	28年10月1日～29年9月30日			H29年10月1日	増減率
	総人口(推計)	までの人口増減数			総人口(推計)	
	(A)	自然増減(a)	社会増減(b)	計(a+b)=B	(A+B)	(B/A×100)
	人	人	人	人	人	%
県計	1,061,393	△5,858	358	△5,500	1,055,893	△0.52
富山市	418,142	△1,584	1,017	△567	417,575	△0.14
高岡市	171,588	△1,085	20	△1,065	170,523	△0.62
魚津市	42,556	△252	△204	△456	42,100	△1.07
氷見市	47,293	△522	△215	△737	46,556	△1.56
滑川市	32,642	△150	92	△58	32,584	△0.18
黒部市	40,823	△190	116	△74	40,749	△0.18
砺波市	48,761	△194	12	△182	48,579	△0.37
小矢部市	30,043	△240	△20	△260	29,783	△0.87
南砺市	50,660	△478	△189	△667	49,993	△1.32
射水市	91,999	△449	△22	△471	91,528	△0.51
舟橋村	2,973	11	17	28	3,001	0.94
上市町	20,705	△164	△102	△266	20,439	△1.28
立山町	26,161	△180	△20	△200	25,961	△0.76
入善町	25,111	△210	△63	△273	24,838	△1.09
朝日町	11,936	△171	△81	△252	11,684	△2.11

表4 人口別市町村の順位

(人)

順位	市町村名	人口	順位	市町村名	人口	順位	市町村名	人口
1	富山市	417,575	6	氷見市	46,556	11	立山町	25,961
2	高岡市	170,523	7	魚津市	42,100	12	入善町	24,838
3	射水市	91,528	8	黒部市	40,749	13	上市町	20,439
4	南砺市	49,993	9	滑川市	32,584	14	朝日町	11,684
5	砺波市	48,579	10	小矢部市	29,783	15	舟橋村	3,001

(注)平成29年10月1日現在。

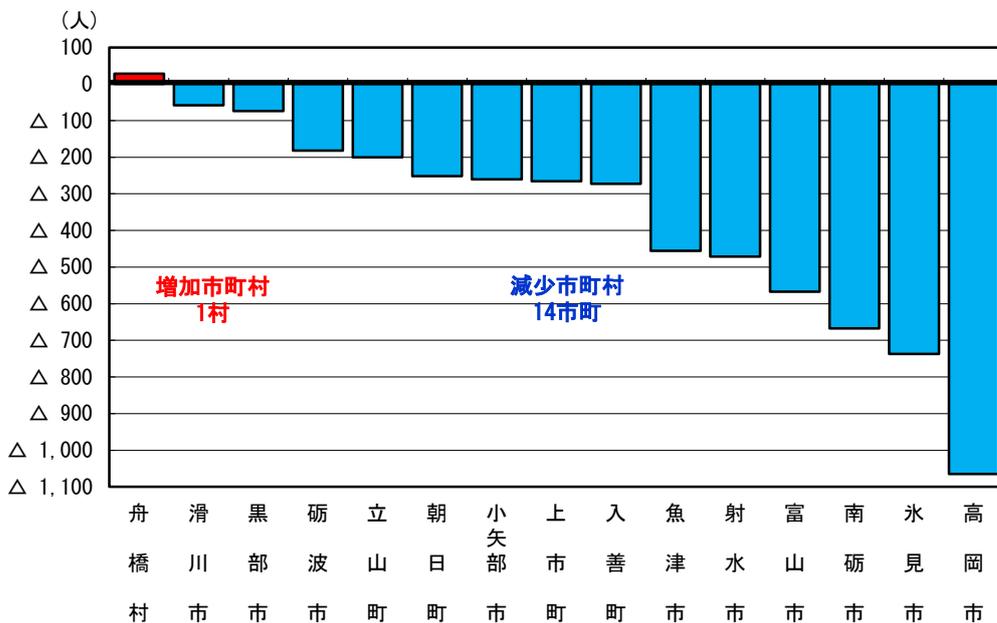
表5 人口増減別市町村の順位

順位	人口増加市町村				順位	人口減少市町村			
	増加数		対前年増加率			減少数		対前年減少率	
	人	%			人	%			
1	舟橋村	28	0.94	1	高岡市	△ 1,065	朝日町	△ 2.11	
				2	氷見市	△ 737	氷見市	△ 1.56	
				3	南砺市	△ 667	南砺市	△ 1.32	
				4	富山市	△ 567	上市町	△ 1.28	
				5	射水市	△ 471	入善町	△ 1.09	
				6	魚津市	△ 456	魚津市	△ 1.07	
				7	入善町	△ 273	小矢部市	△ 0.87	
				8	上市町	△ 266	立山町	△ 0.76	
				9	小矢部市	△ 260	高岡市	△ 0.62	
				10	朝日町	△ 252	射水市	△ 0.51	
				11	立山町	△ 200	砺波市	△ 0.37	
				12	砺波市	△ 182	黒部市	△ 0.18	
				13	黒部市	△ 74	滑川市	△ 0.18	
				14	滑川市	△ 58	富山市	△ 0.14	

(注) 人口増減数=平成29年10月1日現在人口－平成28年10月1日現在人口

人口増減率(対前年)=人口増減数/平成28年10月1日現在人口×100

図4 市町村別人口増減数 (H28.10.1~H29.9.30)



#### (4) 人口構造

##### ① 男女別人口 -全国より0.9ポイント低い人口性比-

平成29年の総人口を男女別にみると、男511,433人(構成比48.4%)、女544,460人(同51.6%)で、女が男に比べて33,027人多くなった。また、前年と比べて男が1,971人(0.38%)、女が3,529人(0.64%)それぞれ減少している。

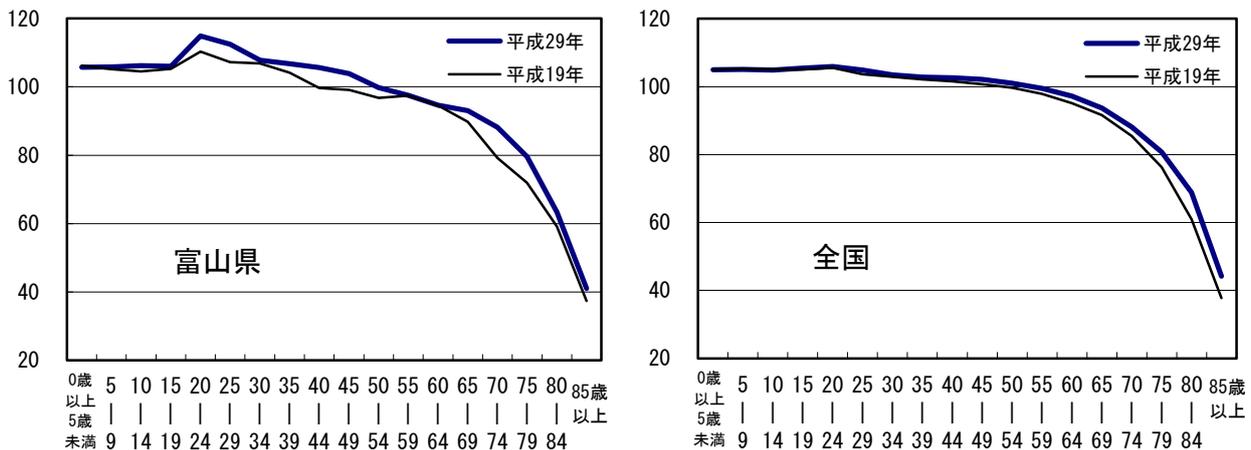
次に、性比(女100人に対する男の数)をみると平成29年は93.9、全国(94.8)よりも0.9ポイント低くなっている。年齢階級別に全国と比較すると、全国の性比は55歳以上で100を下回るのに対し、富山県の性比は50歳以上で100を下回っている。(表6、図5)

表6 男女別人口の推移

年次	人 口 (人)			性比(女=100)	
	男女計	男	女	富山県	全国
大正9年※	724,276	354,775	369,501	96.0	100.4
14※	749,243	368,593	380,650	96.8	101.0
昭和5年※	778,953	381,809	397,144	96.1	101.0
10※	798,890	388,771	410,119	94.8	100.6
15※	822,569	401,261	421,308	95.2	100.0
22※	979,229	472,829	506,400	93.4	95.4
25※	1,008,790	488,850	519,940	94.0	96.2
30※	1,021,121	494,109	527,012	93.8	96.5
35※	1,032,614	500,545	532,069	94.1	96.5
40※	1,025,465	491,662	533,803	92.1	96.4
45※	1,029,695	492,492	537,203	91.7	96.4
50※	1,070,791	514,991	555,800	92.7	96.9
55※	1,103,459	532,686	570,773	93.3	96.9
60※	1,118,369	538,955	579,414	93.0	96.7
平成2年※	1,120,161	538,640	581,521	92.6	96.5
7※	1,123,125	540,921	582,204	92.9	96.2
12※	1,120,851	540,212	580,639	93.0	95.8
17※	1,111,729	535,617	576,112	93.0	95.3
18	1,109,205	534,933	574,272	93.1	95.2
19	1,105,312	532,911	572,401	93.1	95.2
20	1,101,292	530,867	570,425	93.1	95.1
21	1,095,217	527,392	567,825	92.9	95.0
22※	1,093,247	526,605	566,642	92.9	94.8
23	1,088,409	524,636	563,773	93.1	94.8
24	1,082,763	522,037	560,726	93.1	94.7
25	1,076,158	519,048	557,110	93.2	94.7
26	1,070,070	516,174	553,896	93.2	94.7
27※	1,066,328	515,147	551,181	93.5	94.8
28	1,061,393	513,404	547,989	93.7	94.8
29	1,055,893	511,433	544,460	93.9	94.8

(注) 各年10月1日現在。※は「国勢調査」、その他は富山県は「富山県人口移動調査」、全国は総務省「人口推計」(平成29年全国は概算値より算出)による。

図5 年齢(5歳階級)別男女性比の推移(女=100)



(注) 富山県は「富山県人口移動調査」、全国は総務省「人口推計」(平成29年は概算値)による。

② 年齢別人口 —全国より3.9ポイント高い老年人口割合—

ア 県計

平成29年の総人口を年齢3区分別にみると、「15歳未満の年少人口」が123,690人（構成比11.8%）、「15～64歳の生産年齢人口」が592,717人（同56.6%）、「65歳以上の老年人口」が330,450人（同31.6%）となっている。

前年と比較すると、年少人口では2,703人（2.1%）の減少、生産年齢人口では6,023人（1.0%）の減少、老年人口では3,226人（1.0%）の増加となっている。構成比を前年と比較すると、年少人口では0.2ポイント低下、生産年齢人口では0.3ポイント低下、老年人口は0.5ポイント上昇した。（図6、表7）

図6 年齢3区分別人口割合の推移

(年)	(%)		
T9	40.2	54.3	5.5
S25	35.8	58.9	5.3
50	23.0	67.5	9.5
55	22.7	66.2	11.2
60	20.9	66.2	12.8
H2	17.5	67.4	15.1
7	15.1	66.9	17.9
12	14.0	65.2	20.8
15	13.7	64.0	22.4
16	13.6	63.7	22.7
17	13.5	63.3	23.3
18	13.4	62.7	23.8
19	13.3	62.1	24.6
20	13.3	61.5	25.2
21	13.2	60.9	25.9
22	13.0	60.8	26.2
23	12.9	60.7	26.4
24	12.8	59.6	27.6
25	12.6	58.7	28.7
26	12.5	57.8	29.7
27	12.2	57.3	30.5
28	12.0	56.9	31.1
29	11.8	56.6	31.6

15歳未満                      15～64歳                      65歳以上

表7 年齢3区分別人口の推移

(割合：総人口=100)

年次	総数	年少人口（15歳未満）			生産年齢人口（15～64歳）			老年人口（65歳以上）		
		人口	増減率	割合	人口	増減率	割合	人口	増減率	割合
大正9年※	724,276	290,997	—	40.2	393,489	—	54.3	39,790	—	5.5
14※	749,243	292,017	0.4	39.0	418,688	6.4	55.9	38,538	△ 3.1	5.1
昭和5年※	778,953	292,812	0.3	37.6	449,281	7.3	57.7	36,860	△ 4.4	4.7
10※	798,890	299,595	2.3	37.5	461,036	2.6	57.7	38,259	3.8	4.8
15※	822,569	298,947	△ 0.2	36.3	481,772	4.5	58.6	41,809	9.3	5.1
22※	979,229	349,518	16.9	35.7	580,216	20.4	59.3	49,495	18.4	5.1
25※	1,008,790	361,557	3.4	35.8	594,073	2.4	58.9	53,117	7.3	5.3
30※	1,021,121	347,493	△ 3.9	34.0	614,972	3.5	60.2	58,645	10.4	5.7
35※	1,032,614	307,923	△ 11.4	29.8	662,018	7.7	64.1	62,673	6.9	6.1
40※	1,025,465	246,284	△ 20.0	24.0	709,713	7.2	69.2	69,468	10.8	6.8
45※	1,029,695	229,658	△ 6.8	22.3	716,831	1.0	69.6	83,206	19.8	8.1
50※	1,070,791	246,399	7.3	23.0	723,024	0.9	67.5	101,265	21.7	9.5
55※	1,103,459	249,935	1.4	22.7	730,099	1.0	66.2	123,407	21.9	11.2
60※	1,118,369	233,965	△ 6.4	20.9	740,728	1.5	66.2	143,646	16.4	12.8
平成2年※	1,120,161	195,598	△ 16.4	17.5	754,081	1.8	67.4	168,946	17.6	15.1
7※	1,123,125	170,045	△ 13.1	15.1	751,639	△ 0.3	66.9	201,320	19.2	17.9
12※	1,120,851	157,179	△ 1.6	14.0	730,541	△ 0.9	65.2	232,733	2.2	20.8
17※	1,111,729	149,545	△ 1.3	13.5	702,924	△ 1.1	63.3	258,317	2.0	23.3
18	1,109,205	148,724	△ 0.5	13.4	695,259	△ 1.1	62.7	264,279	2.3	23.8
19	1,105,312	147,416	△ 0.9	13.3	685,487	△ 1.4	62.1	271,466	2.7	24.6
20	1,101,292	146,383	△ 0.7	13.3	677,158	△ 1.2	61.5	276,808	2.0	25.2
21	1,095,217	144,753	△ 1.1	13.2	666,251	△ 1.6	60.9	283,270	2.3	25.9
22※	1,093,247	141,936	△ 1.9	13.0	662,072	△ 0.6	60.8	285,102	0.6	26.2
23	1,088,409	140,079	△ 1.3	12.9	658,247	△ 0.6	60.7	285,946	0.3	26.4
24	1,082,763	137,721	△ 1.7	12.8	643,043	△ 2.3	59.6	297,862	4.2	27.6
25	1,076,158	135,271	△ 1.8	12.6	629,168	△ 2.2	58.7	307,582	3.3	28.7
26	1,070,070	132,886	△ 1.8	12.5	616,124	△ 2.1	57.8	316,923	3.0	29.7
27※	1,066,328	128,848	△ 3.0	12.2	605,545	△ 1.7	57.3	322,899	1.9	30.5
28	1,061,393	126,393	△ 1.9	12.0	598,740	△ 1.1	56.9	327,224	1.3	31.1
29	1,055,893	123,690	△ 2.1	11.8	592,717	△ 1.0	56.6	330,450	1.0	31.6

(注) 各年10月1日現在。※は「国勢調査」、その他は「富山県人口移動調査」による。総数は年齢不詳を含む。

年齢3区分別人口は、年齢不詳を含まないため、年齢3区分別人口の和は総数に一致しない。

構成比は、分母から年齢不詳を除いて算出。

増減率(対前年(前回))=(各年人口-前年(前回)人口)/前年(前回)人口×100

イ 市町村別 一年少人口割合の最高は舟橋村の17.4%、

老年人口割合の最高は朝日町の42.9%—

次に、市町村別に年齢3区分別人口構成割合をみると、それぞれ最も高い市町村は、年少人口では舟橋村で17.4%(県全体11.8%)、生産年齢人口では舟橋村で62.0%(県全体56.6%)、老年人口では朝日町で42.9%(県全体31.6%)となった。(表8)

表8 市町村別・年齢3区分別人口

市町村名	実 数				総数に対する割合		
	総 数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
	人	人	人	人	%	%	%
県 計	1,055,893	123,690	592,717	330,450	11.8	56.6	31.6
富山市	417,575	50,984	242,983	121,112	12.3	58.5	29.2
高岡市	170,523	18,585	92,695	55,054	11.2	55.7	33.1
魚津市	42,100	4,555	23,149	14,156	10.9	55.3	33.8
氷見市	46,556	4,554	24,548	17,448	9.8	52.7	37.5
滑川市	32,584	4,106	18,719	9,632	12.7	57.7	29.7
黒部市	40,749	4,899	22,603	12,494	12.2	56.5	31.2
砺波市	48,579	6,393	27,700	14,265	13.2	57.3	29.5
小矢部市	29,783	3,155	15,950	10,665	10.6	53.6	35.8
南砺市	49,993	5,375	25,775	18,803	10.8	51.6	37.6
射水市	91,528	11,866	51,972	27,361	13.0	57.0	30.0
舟橋村	3,001	523	1,860	617	17.4	62.0	20.6
上市町	20,439	2,135	11,106	7,185	10.5	54.4	35.2
立山町	25,961	2,937	14,416	8,058	11.6	56.7	31.7
入善町	24,838	2,617	13,576	8,587	10.6	54.8	34.7
朝日町	11,684	1,006	5,665	5,013	8.6	48.5	42.9

(注) 平成29年10月1日現在。総数は年齢不詳を含む。

年齢3区分別人口は、年齢不詳を含まないため、年齢3区分別人口の和は総数に一致しない。

構成比は、分母から年齢不詳を除いて算出。

## ウ 全国との比較

本県の年齢3区分別人口構成割合（年少人口 11.8%、生産年齢人口 56.6%、老年人口 31.6%）を全国（年少人口 12.3%、生産年齢人口 59.9%、老年人口 27.7%）と比べると、年少人口で 0.5 ポイント、生産年齢人口で 3.3 ポイント低く、対照的に老年人口では 3.9 ポイント高い。また、75 歳以上の後期高齢者については、富山県が 16.0%で、全国の 13.8%より 2.2 ポイント高くなっている。

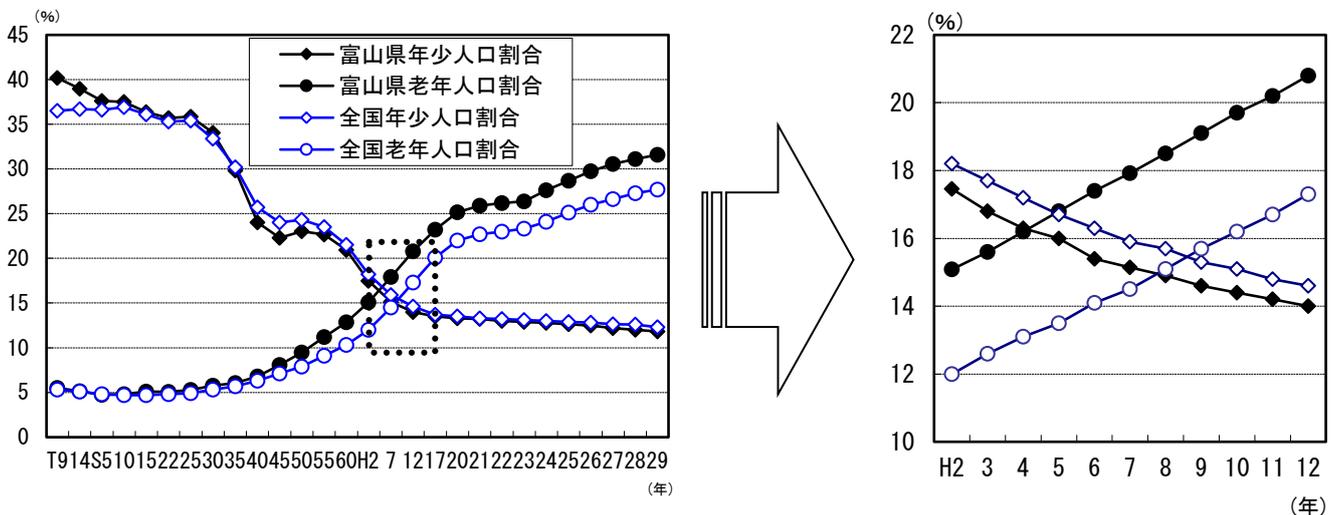
老年人口が年少人口を上回ったのは、富山県では平成 5 年から、全国では平成 9 年からで、ともにその差は拡大している。（表 9、図 7）

表 9 年齢 3 区分別人口割合の推移

年次	年少人口割合 (15歳未満)			生産年齢人口割合 (15~64歳)		老年人口割合 (65歳以上)				
	富山県 %	全国順位 位	全国 %	富山県 %	全国 %	富山県 %	全国順位 位	全国 %	(75歳以上)	
									富山県 %	全国 %
大正9年※	40.2	3	36.5	54.3	58.3	5.5	24	5.3	1.7	1.3
14※	39.0	11	36.7	55.9	58.2	5.1	31	5.1	1.4	1.4
昭和5年※	37.6	22	36.6	57.7	58.7	4.7	33	4.8	1.5	1.4
10※	37.5	27	36.9	57.7	58.5	4.8	30	4.7	1.3	1.3
15※	36.3	28	36.1	58.6	59.2	5.1	20	4.7	1.2	1.2
22※	35.7	—	35.3	59.3	59.9	5.1	—	4.8	1.0	1.1
25※	35.8	24	35.4	58.9	59.6	5.3	24	4.9	1.3	1.3
30※	34.0	24	33.4	60.2	61.2	5.7	25	5.3	1.7	1.5
35※	29.8	32	30.2	64.1	64.1	6.1	29	5.7	1.9	1.7
40※	24.0	40	25.7	69.2	68.0	6.8	32	6.3	2.1	1.9
45※	22.3	43	24.0	69.6	68.9	8.1	25	7.1	2.3	2.1
50※	23.0	36	24.3	67.5	67.7	9.5	20	7.9	2.8	2.5
55※	22.7	29	23.5	66.2	67.3	11.2	18	9.1	3.6	3.1
60※	20.9	36	21.5	66.2	68.2	12.8	17	10.3	4.8	3.9
平成2年※	17.5	41	18.2	67.3	69.5	15.1	16	12.0	6.3	4.8
5	16.0	46	16.7	67.3	69.8	16.8	16	13.5	7.0	5.4
7※	15.1	43	15.9	66.9	69.4	17.9	16	14.5	7.5	5.7
9	14.6	44	15.3	66.2	69.0	19.1	17	15.7	8.0	6.2
12※	14.0	40	14.6	65.2	67.9	20.8	18	17.3	9.1	7.1
17※	13.5	40	13.7	63.3	65.8	23.3	19	20.1	11.4	9.1
18	13.4	39	13.6	62.7	65.5	23.8	18	20.8	11.9	9.5
19	13.3	36	13.5	62.1	65.0	24.6	18	21.5	12.3	9.9
20	13.3	35	13.5	61.5	64.5	25.2	15	22.1	12.8	10.4
21	13.2	35	13.3	60.9	63.9	25.9	14	22.7	13.2	10.8
22※	13.0	33	13.2	60.8	63.8	26.2	15	23.0	13.5	11.0
23	12.9	32	13.1	60.7	63.6	26.4	13	23.3	14.0	11.5
24	12.8	34	13.0	59.6	62.9	27.6	10	24.1	14.3	11.9
25	12.6	34	12.9	58.7	62.1	28.7	9	25.1	14.5	12.3
26	12.5	35	12.8	57.8	61.3	29.7	9	26.0	14.7	12.5
27※	12.2	35	12.6	57.3	60.7	30.5	9	26.6	15.0	12.8
28	12.0	34	12.4	56.9	60.3	31.1	10	27.3	15.4	13.3
29	11.8	...	12.3	56.6	59.9	31.6	...	27.7	16.0	13.8

注) 各年10月1日現在。※は「国勢調査」、その他は富山県は「富山県人口移動調査」、全国は総務省「人口推計」（平成29年は概算値）による。  
なお、全国順位については※は「国勢調査」、その他は総務省「人口推計年報」による。

図 7 年少人口割合、老年人口割合の推移



③ 年齢構造指数 — 老年化指数は前年比 8.3 ポイント上昇し 267.2 —

次に、年齢構造指数をみると、現在の生産年齢人口の扶養負担程度を示す従属人口指数（生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の合計の割合）は 76.6(全国 66.8)、年少人口指数（生産年齢人口に対する年少人口の割合）は 20.9(全国 20.5)、老年人口指数（生産年齢人口に対する老年人口の割合）は 55.8(全国 46.3)となり、前年に比べて従属人口指数で 0.8 ポイント(全国 1.0 ポイント)上昇した。また、老年化指数（年少人口に対する老年人口の割合）は 267.2(全国 225.3)で、前年と比較して 8.3 ポイント(全国 6.1 ポイント)上昇している。（表 10、図 8）

表 10 年齢構造指数の推移

年次	従属人口指数 *1		年少人口指数 *2		老年人口指数 *3		老年化指数 *4	
	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国	富山県	全国
大正9年*	84.1	71.6	74.0	62.6	10.1	9.0	13.7	14.4
14*	79.0	71.7	69.7	63.0	9.2	8.7	13.2	13.8
昭和5年*	73.4	70.5	65.2	62.4	8.2	8.1	12.6	13.0
10*	73.3	71.1	65.0	63.1	8.3	8.0	12.8	12.6
15*	70.7	69.0	62.1	61.0	8.7	8.0	14.0	13.1
22*	68.8	66.9	60.2	58.9	8.5	8.0	14.2	13.6
25*	69.8	67.7	60.9	59.4	8.9	8.3	14.7	13.9
30*	66.0	63.3	56.5	54.6	9.5	8.7	16.9	15.9
35*	56.0	55.9	46.5	47.0	9.5	8.9	20.4	19.0
40*	44.5	47.1	34.7	37.9	9.8	9.2	28.2	24.4
45*	43.6	45.1	32.0	34.9	11.6	10.3	36.2	29.4
50*	48.1	47.6	34.1	35.9	14.0	11.7	41.1	32.6
55*	51.1	48.4	34.2	34.9	16.9	13.5	49.4	38.7
60*	51.0	46.7	31.6	31.6	19.4	15.1	61.4	47.9
平成2年*	48.3	43.5	25.9	26.2	22.4	17.3	86.4	66.2
7*	49.4	43.9	22.6	23.0	26.8	20.9	118.4	91.2
12*	53.4	46.9	21.5	21.4	31.9	25.5	148.1	119.1
16	56.9	50.1	21.3	20.8	35.6	29.2	167.1	140.3
17*	58.0	51.4	21.3	20.8	36.7	30.5	172.7	146.5
18	59.4	52.6	21.4	20.8	38.0	31.8	177.7	152.6
19	61.1	53.9	21.5	20.8	39.6	33.1	184.1	158.8
20	62.5	55.2	21.6	20.9	40.9	34.3	189.1	164.3
21	64.2	56.5	21.7	20.9	42.5	35.6	195.7	170.4
22*	64.5	56.8	21.4	20.7	43.1	36.1	200.9	174.0
23	64.7	57.1	21.3	20.5	43.4	36.6	204.1	178.1
24	67.7	59.0	21.4	20.6	46.3	38.4	216.3	186.1
25	70.4	61.1	21.5	20.7	48.9	40.4	227.4	194.6
26	73.0	63.2	21.6	20.9	51.4	42.4	238.5	203.3
27*	74.6	64.7	21.3	20.8	53.3	43.9	250.6	210.6
28	75.8	65.8	21.1	20.6	54.7	45.2	258.9	219.2
29	76.6	66.8	20.9	20.5	55.8	46.3	267.2	225.3

(注) 各年10月1日現在。\*は国勢調査、その他は富山県は「富山県人口移動調査」、全国は総務省「人口推計」（平成29年全国は概算値より算出）。

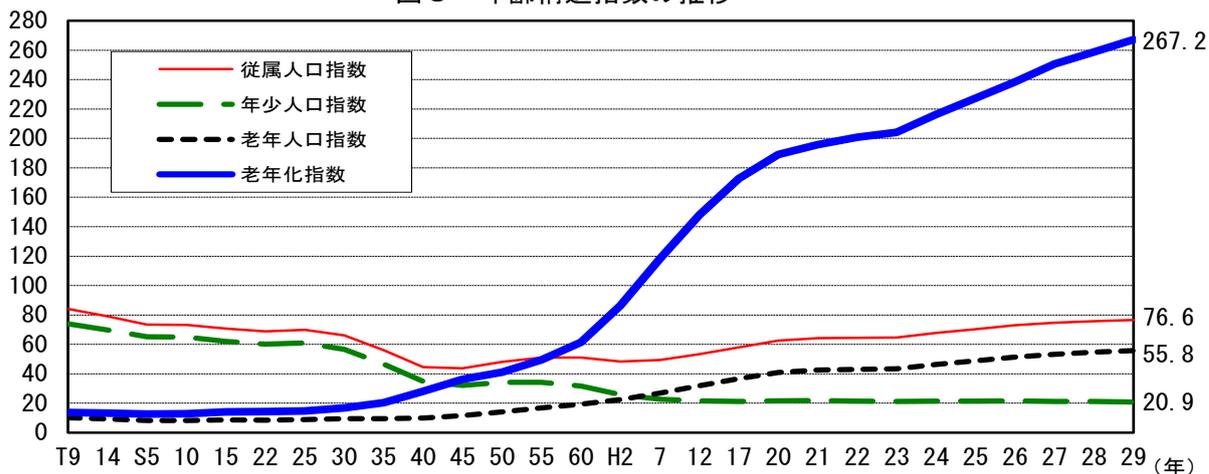
\*1 従属人口指数：(15歳未満人口+65歳以上人口)/15~64歳人口×100

\*2 年少人口指数：15歳未満人口/15~64歳人口×100

\*3 老年人口指数：65歳以上人口/15~64歳人口×100

\*4 老年化指数：65歳以上人口/15歳未満人口×100

図 8 年齢構造指数の推移



④ 平均年齢、中位数年齢 ー平均年齢、中位数年齢はそれぞれ0.3歳上昇ー

平成29年10月1日現在の平均年齢は、年少人口が減少し老年人口が増加したため、前年比0.3歳上昇し、48.9歳となった。男女別にみると、男が46.7歳、女が50.9歳となっている。

また、中位数年齢(\*)も前年に比べて0.3歳上昇し、49.9歳となった。男女別にみると、男が47.5歳、女が52.9歳となっている。(表11・12)

\* 中位数年齢：人口を年齢順に並べたとき、その中央で人口を2等分する境界点にある年齢。

表11 平均年齢及び中位数年齢の推移

年次	平均年齢						中位数年齢					
	富山県			全国			富山県			全国		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和30年*	28.2	29.3	28.9	27.6	26.9	28.3	24.3	23.3	25.2	23.6	22.8	24.5
35*	29.9	29.1	30.7	29.0	28.3	29.8	26.8	25.9	27.5	25.6	24.7	26.4
40*	31.7	30.9	32.4	30.3	29.6	31.1	29.2	28.5	29.9	27.4	26.6	28.2
45*	33.3	32.4	34.1	31.5	30.6	32.3	31.3	30.5	32.2	29.0	28.2	29.8
50*	34.3	33.2	35.3	32.5	31.5	33.4	33.0	31.9	33.9	30.6	29.4	31.6
55*	35.8	34.6	36.9	33.9	32.9	35.0	34.7	33.5	36.1	32.5	31.7	33.4
60*	37.6	36.3	38.9	35.7	34.5	36.8	37.4	36.5	38.3	35.2	34.1	36.2
平成2年*	39.7	38.3	41.1	37.6	36.4	38.8	40.6	39.3	41.6	37.7	36.3	38.9
7*	41.7	40.1	43.2	39.6	38.3	40.8	43.1	41.4	44.6	39.7	38.2	41.2
12*	43.5	41.7	45.1	41.4	40.1	42.8	45.0	42.8	47.0	41.5	39.8	43.1
17*	45.3	43.3	47.1	43.3	41.9	44.7	46.6	44.1	49.1	43.3	41.6	45.0
22*	46.9	44.9	48.8	45.0	43.4	46.4	48.1	45.5	50.8	45.0	43.3	46.7
23	47.2	45.1	49.1	-	-	-	48.4	45.5	51.1	-	-	-
24	47.5	45.4	49.4	-	-	-	48.6	45.9	51.4	-	-	-
25	47.8	45.7	49.7	-	-	-	49.1	46.2	51.6	-	-	-
26	48.1	45.9	50.0	-	-	-	49.3	46.5	51.9	-	-	-
27*	48.4	46.3	50.3	46.4	44.8	47.9	49.4	46.9	52.1	46.7	45.2	48.3
28	48.6	46.5	50.6	-	-	-	49.6	47.2	52.4	-	-	-
29	48.9	46.7	50.9	-	-	-	49.9	47.5	52.9	-	-	-

(注) 各年10月1日現在。\*は国勢調査、その他は富山県は「富山県人口移動調査」による。

表12 平均年齢、中位数年齢の市町村順位

順位	平均年齢 (歳)		中位数年齢 (歳)	
1	舟橋村	43.1	舟橋村	43.9
2	射水市	47.5	富山市	48.0
3	富山市	47.5	射水市	48.1
4	砺波市	47.6	砺波市	48.2
5	滑川市	47.8	滑川市	48.4
6	黒部市	48.6	黒部市	49.7
7	立山町	49.3	立山町	50.7
8	高岡市	49.7	高岡市	51.1
9	魚津市	50.2	魚津市	51.4
10	上市町	50.9	上市町	53.4
11	入善町	51.1	入善町	53.8
12	小矢部市	51.4	小矢部市	54.8
13	南砺市	52.2	南砺市	55.9
14	氷見市	52.5	氷見市	56.1
15	朝日町	55.5	朝日町	60.2

(注) 平成29年10月1日現在。

## 2 人口動態

### (1) 人口の動向 —社会動態で2年連続増加、自然動態で15年連続減少、 純増減は△5,500人、19年連続減少—

平成28年10月1日～平成29年9月30日の自然動態（出生者数－死亡者数）では△5,858人と減少、社会動態（転入者数－転出者数）では358人の増加であった。

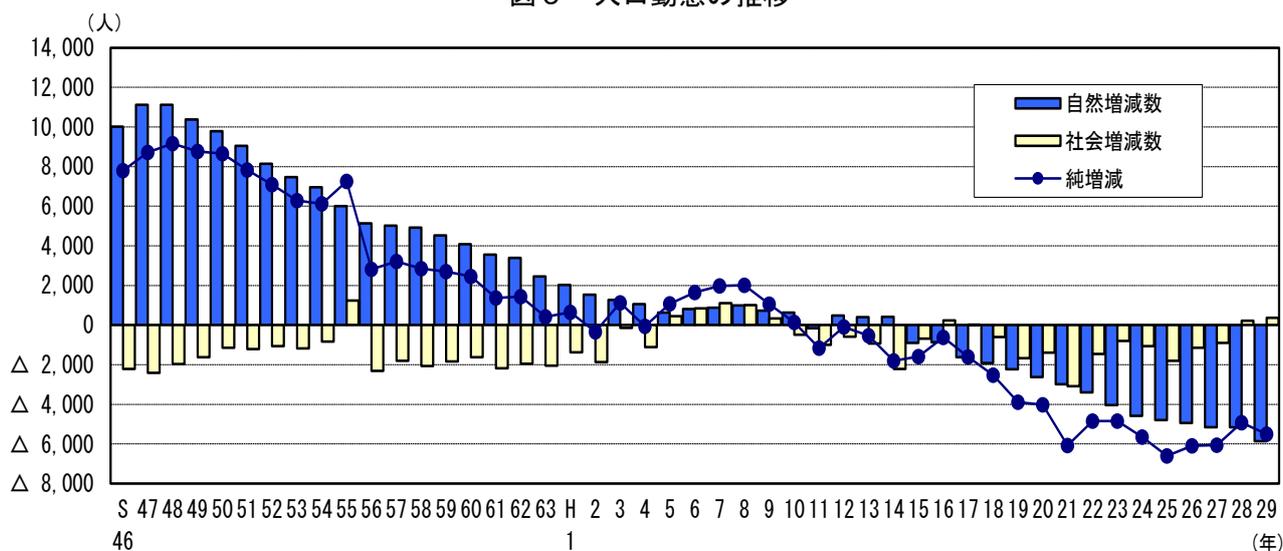
この結果、総人口は5,500人の減少となった。（表13、図9）

表13 人口動態の推移

年次	純増減	自然動態			社会動態		
		自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	転入者数	転出者数
昭和46年	7,800	10,022	17,949	7,927	△ 2,222	24,348	26,570
47	8,718	11,124	18,753	7,629	△ 2,406	23,560	25,966
48	9,157	11,124	18,856	7,732	△ 1,967	24,297	26,264
49	8,769	10,385	18,685	8,300	△ 1,616	23,232	24,848
50	8,655	9,794	17,747	7,953	△ 1,139	22,292	23,431
51	7,834	9,049	16,962	7,913	△ 1,215	21,032	22,247
52	7,085	8,146	15,955	7,809	△ 1,061	20,689	21,750
53	6,283	7,470	15,303	7,833	△ 1,187	20,569	21,756
54	6,119	6,960	14,436	7,476	△ 841	21,114	21,955
55	7,249	6,008	13,835	7,827	1,241	22,457	21,216
56	2,809	5,126	13,060	7,934	△ 2,317	18,829	21,146
57	3,212	5,017	12,686	7,669	△ 1,805	19,438	21,243
58	2,851	4,926	12,822	7,896	△ 2,075	19,734	21,809
59	2,700	4,529	12,598	8,069	△ 1,829	19,041	20,870
60	2,451	4,077	12,117	8,040	△ 1,626	18,757	20,383
61	1,366	3,556	11,627	8,071	△ 2,190	18,426	20,616
62	1,434	3,387	11,292	7,905	△ 1,953	18,569	20,522
63	411	2,462	10,848	8,386	△ 2,051	18,292	20,343
平成元年	649	2,028	10,427	8,399	△ 1,379	18,905	20,284
2	△ 346	1,528	10,189	8,661	△ 1,874	18,812	20,686
3	1,123	1,269	9,922	8,653	△ 146	20,407	20,553
4	△ 56	1,059	10,044	8,985	△ 1,115	20,522	21,637
5	1,074	626	9,815	9,189	448	21,263	20,815
6	1,654	809	9,924	9,115	845	21,553	20,708
7	1,981	872	10,404	9,532	1,109	22,216	21,107
8	2,005	993	10,180	9,187	1,012	22,198	21,186
9	1,062	727	10,222	9,495	335	22,181	21,846
10	144	634	10,340	9,706	△ 490	21,739	22,229
11	△ 1,159	△ 164	10,078	10,242	△ 995	20,388	21,383
12	△ 97	486	10,245	9,759	△ 583	21,591	22,174
13	△ 531	402	10,029	9,627	△ 933	21,411	22,344
14	△ 1,802	410	10,175	9,765	△ 2,212	20,469	22,681
15	△ 1,592	△ 902	9,543	10,445	△ 690	21,069	21,759
16	△ 620	△ 860	9,566	10,426	240	21,589	21,349
17	△ 1,614	△ 1,616	9,150	10,766	2	21,891	21,889
18	△ 2,524	△ 1,918	9,043	10,961	△ 606	21,414	22,020
19	△ 3,893	△ 2,228	8,881	11,109	△ 1,665	20,167	21,832
20	△ 4,020	△ 2,624	8,936	11,560	△ 1,396	19,174	20,570
21	△ 6,075	△ 2,993	8,583	11,576	△ 3,082	17,584	20,666
22	△ 4,850	△ 3,396	8,385	11,781	△ 1,454	16,777	18,231
23	△ 4,838	△ 4,033	8,190	12,223	△ 805	17,037	17,842
24	△ 5,646	△ 4,575	8,024	12,599	△ 1,071	17,003	18,074
25	△ 6,605	△ 4,795	7,898	12,693	△ 1,810	16,010	17,820
26	△ 6,088	△ 4,941	7,657	12,598	△ 1,147	15,939	17,086
27	△ 6,061	△ 5,164	7,667	12,831	△ 897	16,744	17,641
28	△ 4,935	△ 5,161	7,582	12,743	226	17,352	17,126
29	△ 5,500	△ 5,858	7,251	13,109	358	17,822	17,464

(注) 表13は「富山県人口移動調査」の人口動態による純増減数であり、国勢調査の結果を加減している表1の増減数とは一致しない。転入者数・転出者数には県内移動者数を含まない。  
各年9月30日までの一年間(前年10月1日～各年9月30日)。

図9 人口動態の推移



## (2) 自然動態

### ① 自然増減数

平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日の自然増減数は 5,858 人の減少となり、15 年連続の自然減少となった。出生者数が前年同期比 331 人減少の 7,251 人、死亡者数が前年同期比 366 人増加の 13,109 人であった。(図 10)

#### ア 出生者数

出生者数は昭和 46～49 年の第 2 次ベビーブーム期以降減少が続いており、平成 7 年からは 10,000 人を若干上回る水準で横ばいに推移していたが、平成 15 年に再び 10,000 人を割り、平成 29 年は 7,251 人とさらに減少となった。

#### イ 合計特殊出生率〈厚生労働省「人口動態統計」による。各年 1 月 1 日～12 月 31 日〉

合計特殊出生率は、昭和 47 年の 2.12(全国 2.14)以降、低下傾向が続いている。昭和 49 年には人口置き換え水準(\*)を割り込む 2.06(全国 2.05)となり、平成 18 年には 1.34(全国 1.32)まで低下した。平成 27 年には 1.51(全国 1.45)まで上昇したが、平成 28 年は 1.50(全国 1.44)に低下した。(図 11)

#### ウ 死亡者数

死亡者数は昭和 46～62 年まではほぼ 8,000 人前後の横ばいで推移していたが、その後微増を続け、平成 5 年に 9,000 人台となった。その後も微増が続き、平成 11 年には 10,000 人を超え初めて出生者数を上回った。平成 12 年から 14 年にかけては 9,000 人台に戻ったが、平成 15 年から再び 10,000 人を超え出生者数を上回った。平成 29 年は 13,109 人とさらに死亡者数が増加した。

\* 現在の人口を維持するのに必要な水準で、日本では 2.08 前後の数値が該当するとされる。平成 15 年からは 2.07 とされた。

図 10 自然動態の推移

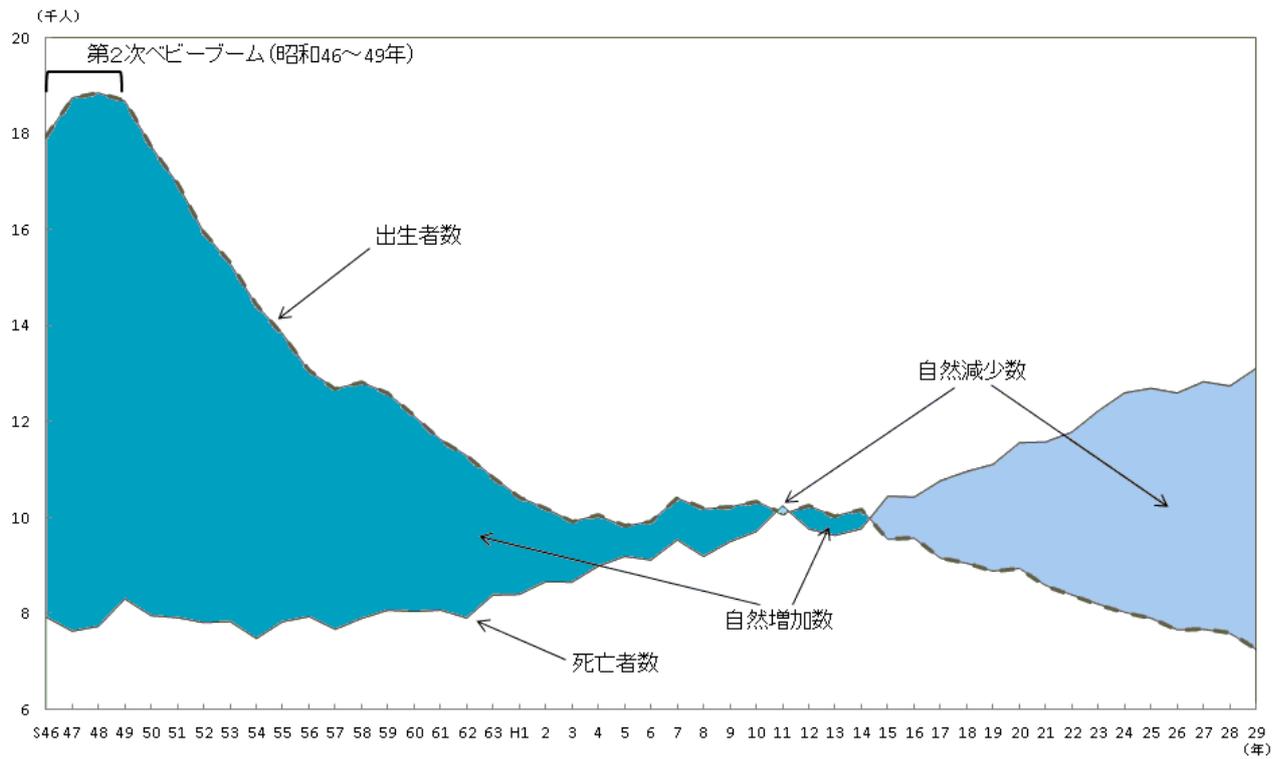
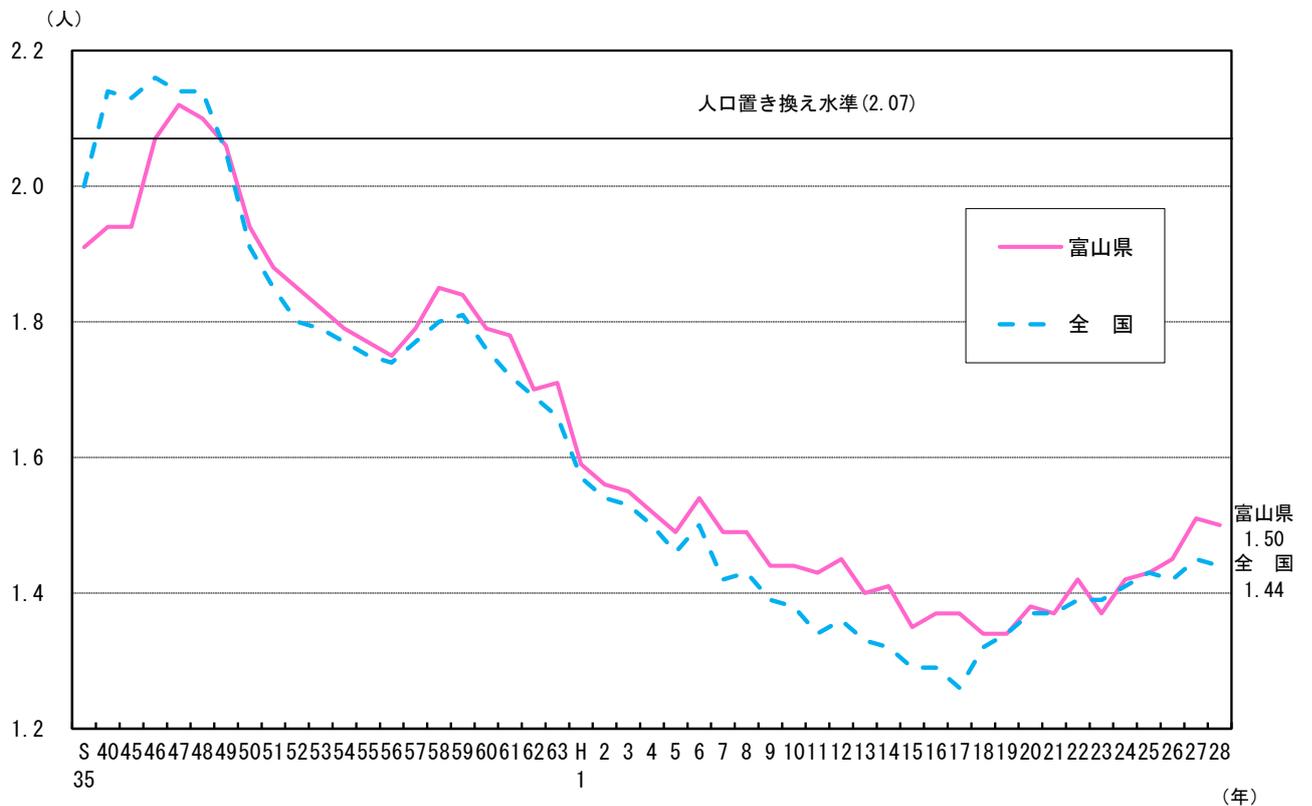


図 11 合計特殊出生率の推移



## ② 出生率、死亡率

平成28年10月1日～平成29年9月30日の出生率は、6.8（前年同期7.1）、死亡率は12.4（同12.0）となった。前年同期と比べると、出生率は0.3低下し、死亡率は0.4上昇した。（表14）

## ③ 市町村別の動向

市町村別にみると、平成28年10月1日～平成29年9月30日の自然動態がプラスであったのは1村、マイナスが14市町であった。出生率の最も高いのは舟橋村（10.1）、最も低いのは朝日町（4.6）である。死亡率の最も高いのは朝日町（18.9）、最も低いのは舟橋村（6.4）である。

自然増減率でみると、最も高いのは舟橋村（0.37%）、最も低いのは朝日町（△1.43%）となっている。（表14）

表14 市町村別自然動態と順位

市町村名	自然増減			出生			死亡		
	実数	率*1	順位	実数	率*2	順位	実数	率*3	順位
	人	%		人 (人口千人当たり)			人 (人口千人当たり)		
県計	△5,858	△0.55		7,251	6.8		13,109	12.4	
富山市	△1,584	△0.38	2	3,167	7.6	2	4,751	11.4	12
高岡市	△1,085	△0.63	8	1,176	6.9	5	2,261	13.2	6
魚津市	△252	△0.59	7	273	6.4	8	525	12.3	8
氷見市	△522	△1.10	14	228	4.8	14	750	15.9	2
滑川市	△150	△0.46	4	233	7.1	4	383	11.7	10
黒部市	△190	△0.47	5	269	6.6	7	459	11.2	13
砺波市	△194	△0.40	3	354	7.3	3	548	11.2	14
小矢部市	△240	△0.80	11	166	5.5	10	406	13.5	5
南砺市	△478	△0.94	13	293	5.8	9	771	15.2	3
射水市	△449	△0.49	6	627	6.8	6	1,076	11.7	11
舟橋村	11	0.37	1	30	10.1	1	19	6.4	15
上市町	△164	△0.79	10	107	5.2	13	271	13.1	7
立山町	△180	△0.69	9	141	5.4	11	321	12.3	9
入善町	△210	△0.84	12	132	5.3	12	342	13.6	4
朝日町	△171	△1.43	15	55	4.6	15	226	18.9	1

(注) 平成28年10月1日～平成29年9月30日。

\*1 自然増減率＝自然増減数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×100  
自然増減数＝出生者数－死亡者数

\*2 出生率(人口千人当たり)＝出生数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×1000

\*3 死亡率(人口千人当たり)＝死亡数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×1000

### (3) 社会動態

#### ① 社会移動

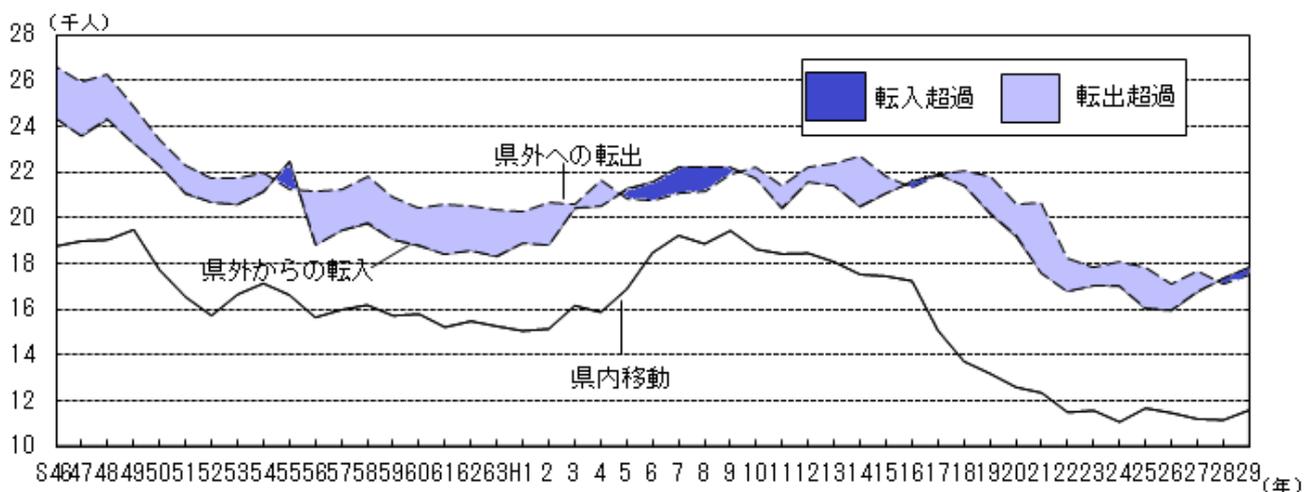
平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日の社会移動総数は 46,867 人となり、前年同期に比べ 1,242 人(2.7%)増加した。このうち県内市町村間で移動した人は 11,581 人で前年同期に比べ 434 人(3.9%)の増加となった。

一方、都道府県間で移動した人は県外からの転入者が 17,822 人で前年同期に比べ 470 人(2.7%)の増加、県外への転出者が 17,464 人で前年同期に比べ 338 人(2.0%)の増加となりその結果、差引増減は 358 人の増加となった。

これまでの社会移動をみると、昭和 30 年代の後半以降の高度経済成長期において、毎年 5～8 千人の大幅な転出超過となっていたが、昭和 44 年の 8,404 人の転出超過をピークに年々減少し、昭和 54 年には 1 千人を割り、その翌年には転入超過に転じた。しかし、昭和 56 年から平成 4 年までの 12 年間は再び 1～2 千人台の転出超過が続いた。その後、平成 5 年から平成 9 年までの 5 年間は転入超過に転じ、平成 10 年からは再び転出超過となっていたが、平成 16 年は 7 年ぶりに転入超過となり、平成 17 年もわずかだが転入超過が続いた。その後、平成 18 年から平成 27 年の 10 年間は転出超過が続いたが、平成 28 年に転入超過となり、平成 29 年は 358 人と 2 年連続の転入超過となった。

県内移動率は 1.09%で前年同期に比べ 0.04 ポイント上昇した。転入・転出率を前年同期と比べると、転入率は 1.68%(前年同期 1.63%)で 0.05 ポイント上昇し、転出率は 1.65%(前年同期 1.61%)で 0.04 ポイント上昇した。(図 12、表 15)

図 12 県内移動、県外転入・転出の推移



\* 県内移動率：平成 28 年 10 月 1 日現在人口に占める県内移動者数の割合

転入率：平成 28 年 10 月 1 日現在人口に占める県外転入者数の割合

転出率：平成 28 年 10 月 1 日現在人口に占める県外転出者数の割合

表 15 社会動態の推移

年次	社 会 移 動 数 (人)					社 会 移 動 率 (%)			
	総 数	県内 移動	県 外 移 動			県内 移動	県 外 移 動		
			転 入	転 出	差引増減		転入	転出	転入超過 (△:転出超過)
昭和46年	69,667	18,749	24,348	26,570	△2,222	1.82	2.36	2.58	△ 0.22
47	68,500	18,974	23,560	25,966	△2,406	1.83	2.27	2.50	△ 0.23
48	69,590	19,029	24,297	26,264	△1,967	1.82	2.32	2.51	△ 0.19
49	67,550	19,470	23,232	24,848	△1,616	1.84	2.20	2.35	△ 0.15
50	63,434	17,711	22,292	23,431	△1,139	1.66	2.09	2.20	△ 0.11
51	59,809	16,530	21,032	22,247	△1,215	1.54	1.96	2.08	△ 0.11
52	58,151	15,712	20,689	21,750	△1,061	1.46	1.92	2.02	△ 0.10
53	58,961	16,636	20,569	21,756	△1,187	1.53	1.89	2.00	△ 0.11
54	60,191	17,122	21,114	21,955	△ 841	1.57	1.93	2.01	△ 0.08
55	60,291	16,618	22,457	21,216	1,241	1.51	2.05	1.93	0.11
56	55,605	15,630	18,829	21,146	△2,317	1.42	1.71	1.92	△ 0.21
57	56,647	15,966	19,438	21,243	△1,805	1.44	1.76	1.92	△ 0.16
58	57,720	16,177	19,734	21,809	△2,075	1.46	1.78	1.97	△ 0.19
59	55,618	15,707	19,041	20,870	△1,829	1.41	1.71	1.88	△ 0.16
60	54,921	15,781	18,757	20,383	△1,626	1.42	1.68	1.83	△ 0.15
61	54,250	15,208	18,426	20,616	△2,190	1.36	1.65	1.84	△ 0.20
62	54,559	15,468	18,569	20,522	△1,953	1.38	1.66	1.83	△ 0.17
63	53,882	15,247	18,292	20,343	△2,051	1.36	1.63	1.81	△ 0.18
平成元年	54,236	15,047	18,905	20,284	△1,379	1.34	1.69	1.81	△ 0.12
2	54,628	15,130	18,812	20,686	△1,874	1.35	1.68	1.84	△ 0.17
3	57,107	16,147	20,407	20,553	△ 146	1.44	1.82	1.83	△ 0.01
4	58,017	15,858	20,522	21,637	△1,115	1.41	1.83	1.93	△ 0.10
5	58,943	16,865	21,263	20,815	448	1.50	1.90	1.86	0.04
6	60,726	18,465	21,553	20,708	845	1.65	1.92	1.85	0.08
7	62,537	19,214	22,216	21,107	1,109	1.71	1.98	1.88	0.10
8	62,234	18,850	22,198	21,186	1,012	1.68	1.98	1.89	0.09
9	63,456	19,429	22,181	21,846	335	1.73	1.97	1.94	0.03
10	62,579	18,611	21,739	22,229	△ 490	1.65	1.93	1.97	△ 0.04
11	60,183	18,412	20,388	21,383	△ 995	1.63	1.81	1.90	△ 0.09
12	62,203	18,438	21,591	22,174	△ 583	1.64	1.92	1.97	△ 0.05
13	61,817	18,062	21,411	22,344	△ 933	1.61	1.91	1.99	△ 0.08
14	60,661	17,511	20,469	22,681	△2,212	1.56	1.83	2.02	△ 0.20
15	60,263	17,435	21,069	21,759	△ 690	1.56	1.88	1.95	△ 0.06
16	60,166	17,228	21,589	21,349	240	1.54	1.93	1.91	0.02
17	58,840	15,060	21,891	21,889	2	1.35	1.96	1.96	0.00
18	57,148	13,714	21,414	22,020	△ 606	1.23	1.93	1.98	△ 0.05
19	55,178	13,179	20,167	21,832	△1,665	1.19	1.82	1.97	△ 0.15
20	52,330	12,586	19,174	20,570	△1,396	1.14	1.73	1.86	△ 0.13
21	50,581	12,331	17,584	20,666	△3,082	1.12	1.60	1.88	△ 0.28
22	46,492	11,484	16,777	18,231	△1,454	1.05	1.53	1.66	△ 0.13
23	46,443	11,564	17,037	17,842	△ 805	1.06	1.56	1.63	△ 0.07
24	46,138	11,061	17,003	18,074	△1,071	1.02	1.56	1.66	△ 0.10
25	45,497	11,667	16,010	17,820	△1,810	1.08	1.48	1.65	△ 0.17
26	44,484	11,459	15,939	17,086	△1,147	1.06	1.48	1.59	△ 0.11
27	45,577	11,192	16,744	17,641	△ 897	1.05	1.56	1.65	△ 0.08
28	45,625	11,147	17,352	17,126	226	1.05	1.63	1.61	0.02
29	46,867	11,581	17,822	17,464	358	1.09	1.68	1.65	0.03

(注) 各年9月30日までの一年間(前年10月1日～各年9月30日)。

社会移動率=移動者数(前年10月1日～各年9月30日)/前年10月1日現在人口×100

## ② 県内移動

平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日の県内市町村間の移動をみると、県内移動者数は 11,581 人で移動総数の 24.7%を占めており、前年同期に比べて 434 人(3.9%)増加した。

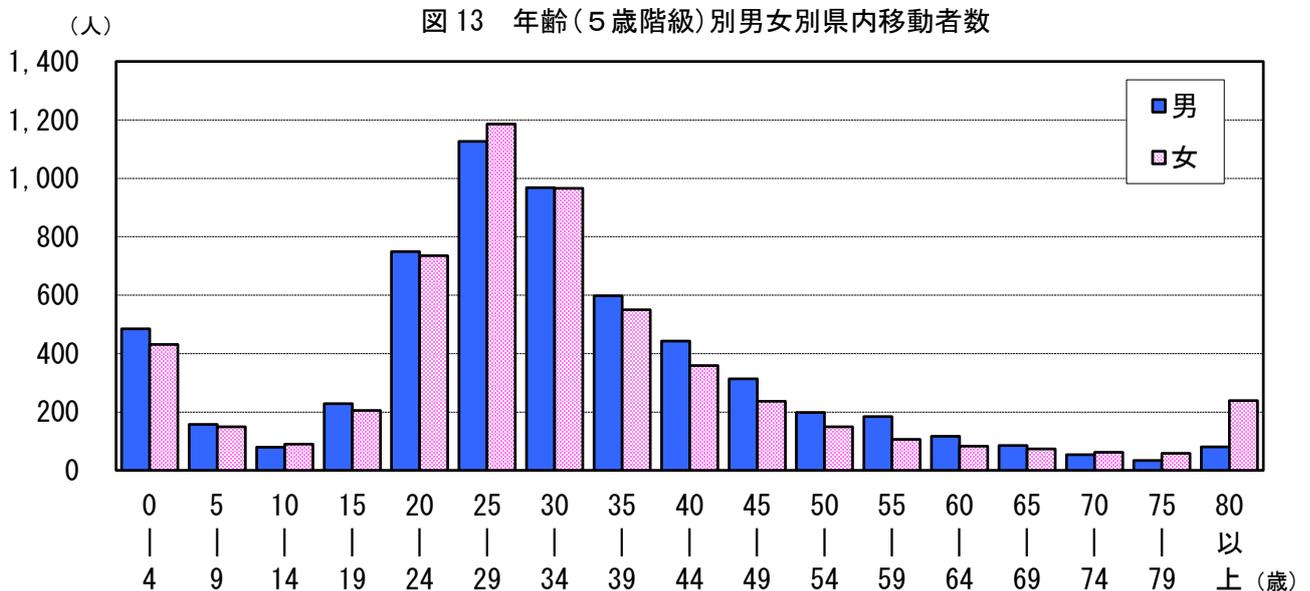
これを男女別にみると、男は 5,901 人(構成比 51.0%)、女は 5,680 人(同 49.0%)となり、男が 221 人多くなっている。

年齢 5 歳階級別にみると、25～29 歳層が 2,312 人(構成比 20.0%)で最も多く、次いで 30～34 歳層 1,934 人(同 16.7%)、20～24 歳層 1,484 人(同 12.8%)となっている。(表 16、図 13)

表 16 年齢(5 歳階級)別社会動態

年 齢	県 内 移 動			県 外 移 動								
	計	男	女	転 入			転 出			差 引 増 減		
				計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数	11,581	5,901	5,680	17,822	10,384	7,438	17,464	9,639	7,825	358	745	△ 387
0-4	916	485	431	991	514	477	868	448	420	123	66	57
5-9	307	158	149	569	301	268	537	277	260	32	24	8
10-14	169	79	90	284	150	134	301	169	132	△ 17	△ 19	2
15-19	433	228	205	823	452	371	960	511	449	△ 137	△ 59	△ 78
20-24	1,484	749	735	3,675	2,196	1,479	3,744	1,950	1,794	△ 69	246	△ 315
25-29	2,312	1,126	1,186	3,362	1,958	1,404	3,447	1,929	1,518	△ 85	29	△ 114
30-34	1,934	968	966	2,467	1,387	1,080	2,194	1,184	1,010	273	203	70
35-39	1,148	598	550	1,597	901	696	1,539	880	659	58	21	37
40-44	802	443	359	1,194	710	484	1,185	681	504	9	29	△ 20
45-49	551	314	237	925	606	319	902	571	331	23	35	△ 12
50-54	347	198	149	618	427	191	558	366	192	60	61	△ 1
55-59	290	184	106	446	301	145	373	255	118	73	46	27
60-64	200	117	83	299	200	99	256	172	84	43	28	15
65-69	159	85	74	233	140	93	206	118	88	27	22	5
70-74	116	54	62	104	62	42	95	53	42	9	9	0
75-79	93	34	59	81	26	55	76	30	46	5	△ 4	9
80以上	320	81	239	154	53	101	223	45	178	△ 69	8	△ 77

(注) 平成28年10月1日～平成29年9月30日。



### ③ 県外移動

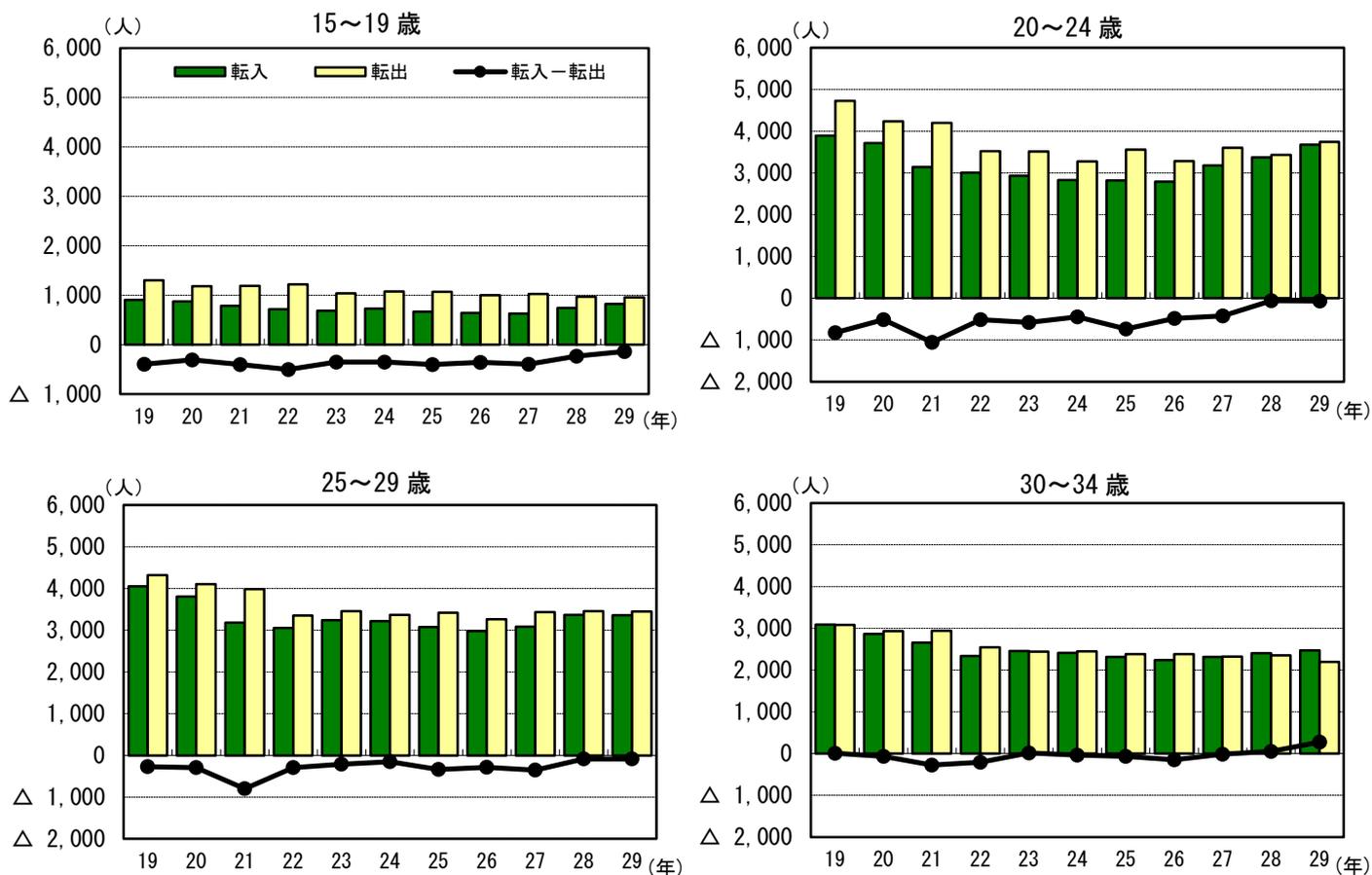
平成28年10月1日～平成29年9月30日の県外からの転入者数は前年同期比470人増の17,822人、県外への転出者数は前年同期比338人増の17,464人であった。県外転入者と転出者を合わせた合計は35,286人で、これは移動者総数の75.3%にあたる。これを男女別にみると、男で20,023人(構成比56.7%)、女で15,263人(同43.3%)となっている。

#### ア 年齢5歳階級別

年齢5歳階級別にみると、平成29年は「15～19歳」「20～24歳」「25～29歳」で引き続き転出超過となっているが、「15～19歳」では転出超過数が減少した。

一方、「30～34歳」は平成24～27年まで転出超過となっていたが、平成28年から転入超過となり、平成29年は転入超過数が増加した。(表16、図14)

図14 年齢階級別県外転出入者数の推移



#### イ 都道府県別

転入元を都道府県別にみると、転入者数が最も多いのは石川県で、次いで東京都、愛知県、大阪府、神奈川県の間となった。(昨年と同順。)

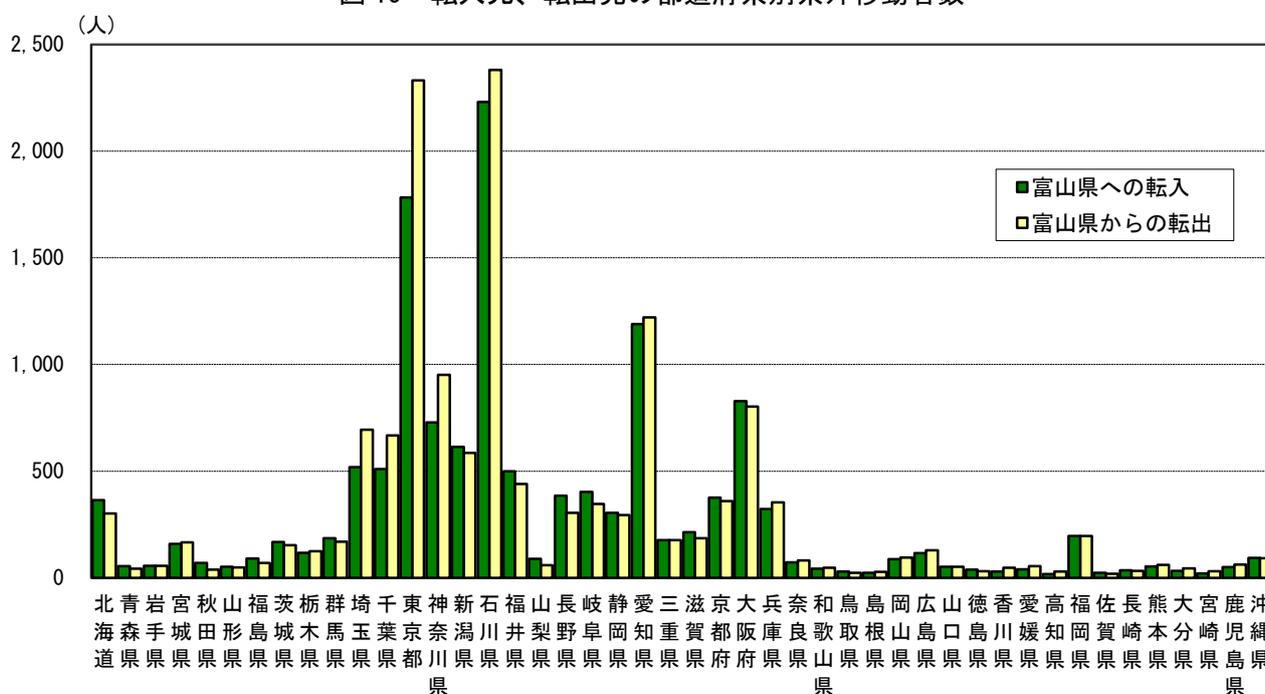
一方、転出先では、転出者数が最も多いのは石川県で、次いで東京都、愛知県、神奈川県、大阪府の間となった。(昨年は1位が東京都、2位が石川県で、他は同順。)(表17、図15)

表 17 転入元、転出先別の都道府県順位（国外を除く）

富山県への転入、構成比				富山県からの転出、構成比			
総数	13,537人	(人)	(%)	総数	14,474人	(人)	(%)
1	石川県	2,230	16.5	1	石川県	2,380	16.4
2	東京都	1,782	13.2	2	東京都	2,331	16.1
3	愛知県	1,189	8.8	3	愛知県	1,221	8.4
4	大阪府	828	6.1	4	神奈川県	951	6.6
5	神奈川県	728	5.4	5	大阪府	803	5.5

(注) 総数には転出先/転入元が国外・その他を含まない。平成28年10月1日～平成29年9月30日。

図 15 転入元、転出先の都道府県別県外移動者数



④ 市町村別転入・転出

平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日の市町村別の転入者数、転出者数(県外移動を含む)をみると、転入者数が最も多いのは富山市の 12,301 人、次いで高岡市 4,779 人、射水市 2,500 人と続いている。また、転入率でみると、舟橋村の 4.10%が最も高く、次いで砺波市 3.42%、黒部市 3.32%の順となっている。

一方、転出者数が最も多いのは富山市の 11,284 人、次いで高岡市 4,759 人、射水市 2,522 人と続いている。また、転出率でみると、舟橋村の 3.53%が最も高く、次いで砺波市 3.40%、黒部市 3.03%の順となっている。(表 18)

県内市町村間の人口移動で、転出者の最も多い転出先市町村を線で結ぶと図 16 のとおりとなり、富山市を 1 位の転出先とするのは 9 市町村、高岡市へは 4 市であった。

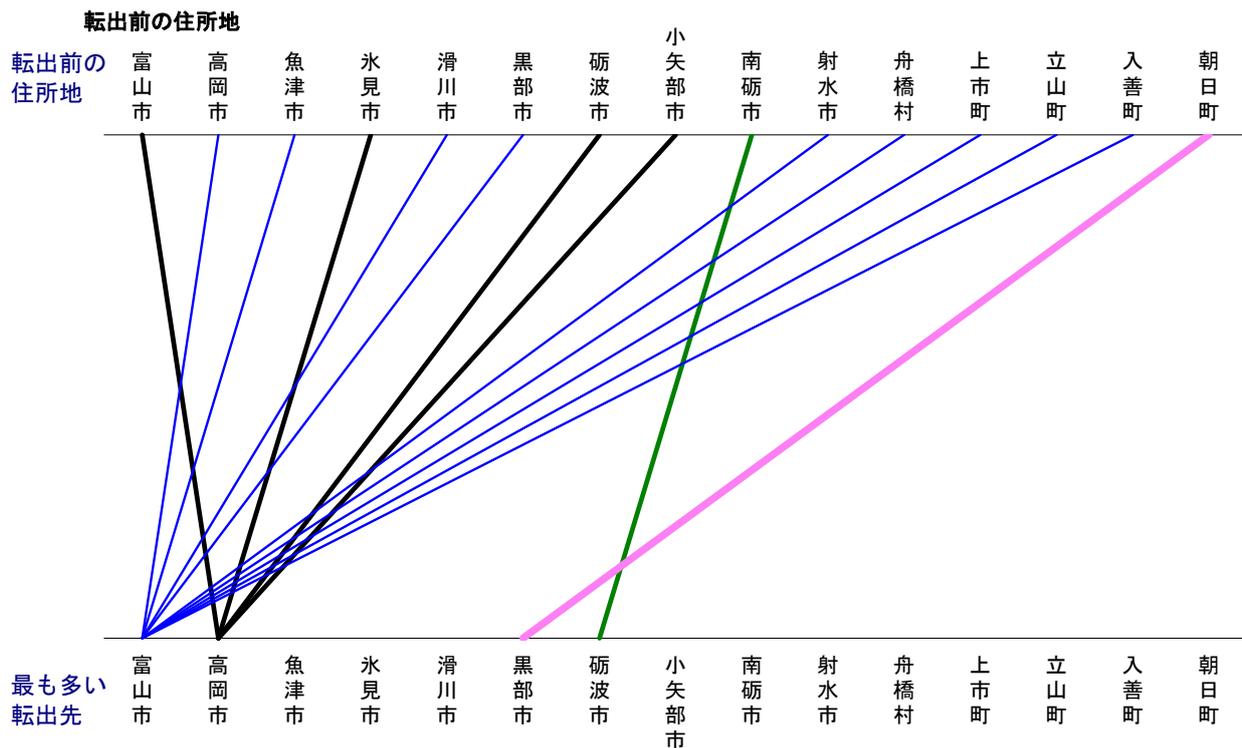
表 18 市町村別社会動態

市町村名	社会増減			転 入			転 出		
	実 数	率 *1	順位	実 数	率 *2	順位	実 数	率 *3	順位
	人	%		人	%		人	%	
県 計	358	0.03		29,403	2.77		29,045	2.74	
富 山 市	1,017	0.24	4	12,301	2.94	5	11,284	2.70	9
高 岡 市	20	0.01	6	4,779	2.79	6	4,759	2.77	7
魚 津 市	△ 204	△ 0.48	13	1,077	2.53	8	1,281	3.01	4
氷 見 市	△ 215	△ 0.45	12	845	1.79	15	1,060	2.24	15
滑 川 市	92	0.28	3	1,063	3.26	4	971	2.97	5
黒 部 市	116	0.28	2	1,354	3.32	3	1,238	3.03	3
砺 波 市	12	0.02	5	1,668	3.42	2	1,656	3.40	2
小 矢 部 市	△ 20	△ 0.07	8	734	2.44	10	754	2.51	12
南 砺 市	△ 189	△ 0.37	11	1,060	2.09	14	1,249	2.47	13
射 水 市	△ 22	△ 0.02	7	2,500	2.72	7	2,522	2.74	8
舟 橋 村	17	0.57	1	122	4.10	1	105	3.53	1
上 市 町	△ 102	△ 0.49	14	455	2.20	11	557	2.69	10
立 山 町	△ 20	△ 0.08	9	642	2.45	9	662	2.53	11
入 善 町	△ 63	△ 0.25	10	549	2.19	12	612	2.44	14
朝 日 町	△ 81	△ 0.68	15	254	2.13	13	335	2.81	6

(注) 平成28年10月1日～平成29年9月30日。

- \*1 社会増減率＝社会増減数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×100  
社会増減数＝転入者数－転出者数
- \*2 転入率＝転入者数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×100
- \*3 転出率＝転出者数(平成28年10月1日～平成29年9月30日)/平成28年10月1日現在推計人口×100

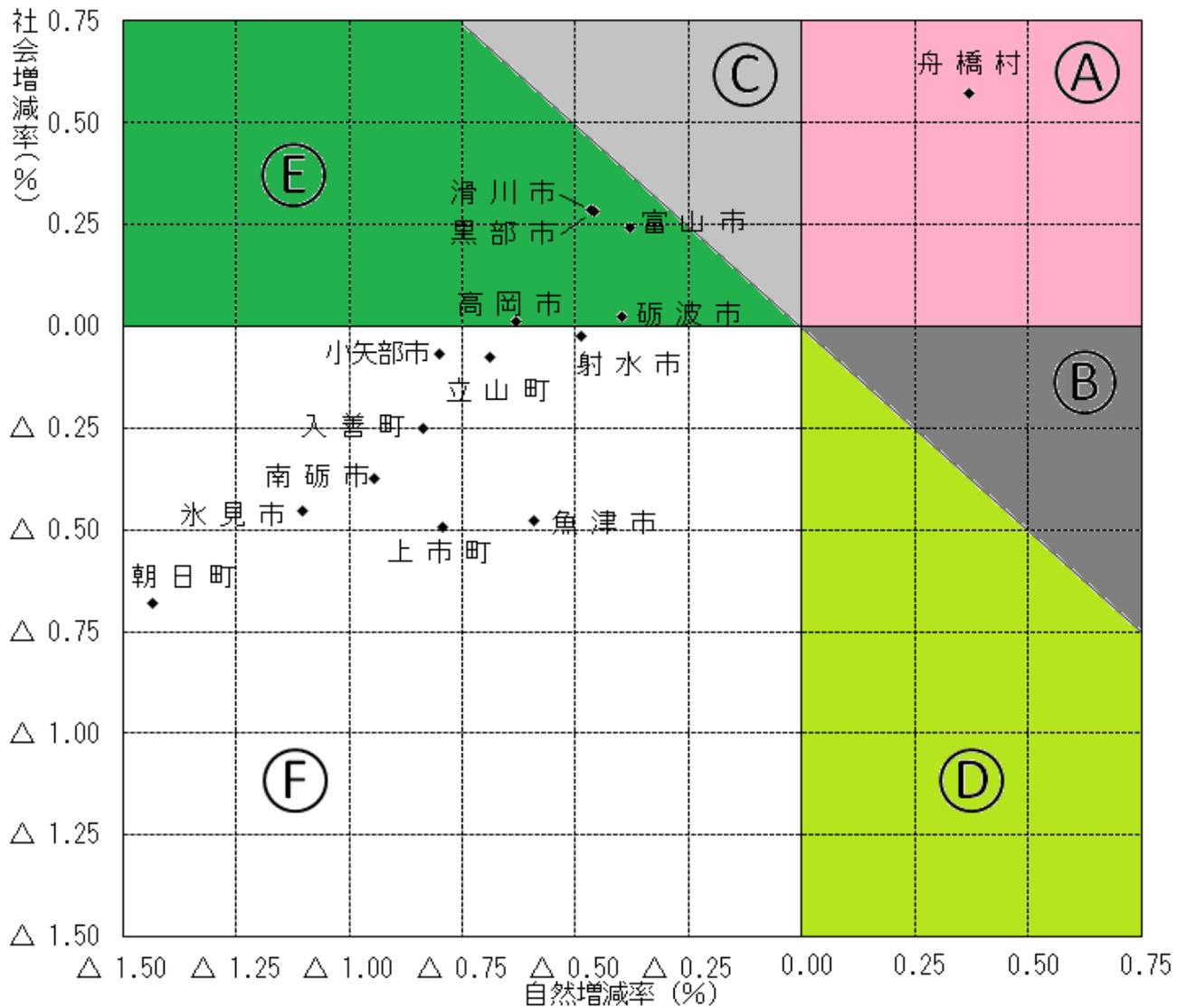
図 16 市町村別に見た転出者の最も多い転出先



(4) 市町村別の人口動態 —人口増加は舟橋村のみ、減少は14市町—

- A:人口増加（自然増・社会増）：舟橋村
- B:人口増加（自然増・社会減）：なし
- C:人口増加（自然減・社会増）：なし
- D:人口減少（自然増・社会減）：なし
- E:人口減少（自然減・社会増）：富山市、高岡市、滑川市、黒部市、砺波市
- F:人口減少（自然減・社会減）：魚津市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、上市町、立山町、入善町、朝日町

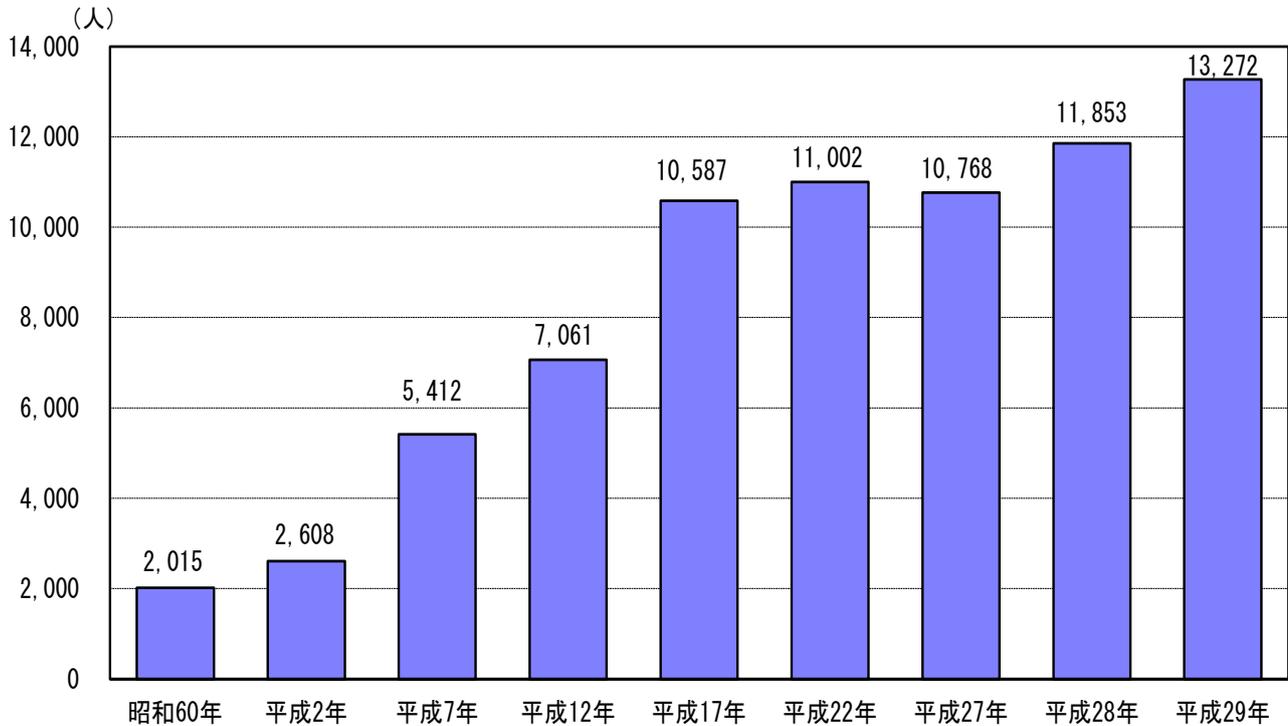
図 17 市町村別の自然動態と社会動態 (H28. 10. 1~H29. 9. 30)



## (5) 外国人の人口動態

外国人は、一年前に比べ1,419人増加し、13,272人となった。(図18、表19)

図18 外国人人口の推移



(注) 昭和60年～平成27年は「国勢調査」、平成28年及び29年は「富山県人口移動調査」による。

表19 外国人の人口動態

	自然動態			社会動態				純増減 (自然動態+ 社会動態)
	出生者数 (a)	死亡者数 (b)	差引増減 (a-b)	県内移動者数	県外からの転 入者数(c)	県外への転出 者数(d)	差引増減 (c-d)	
平成24年	94	14	80	517	3,205	3,490	△ 285	△ 205
平成25年	105	18	87	775	2,713	3,155	△ 442	△ 355
平成26年	93	30	63	757	2,909	2,939	△ 30	33
平成27年	87	24	63	797	3,433	3,058	375	438
平成28年	127	30	97	846	3,888	2,900	988	1,085
平成29年	100	28	72	1,031	4,342	2,995	1,347	1,419

(注) 前年10月1日～各年9月30日までの一年間。

平成27年より基準値を平成22年国勢調査から平成27年国勢調査確報値に変更したため、平成27年外国人人口は、前年の人口に平成27年の人口動態を加減しても数値は一致しない。